

丈夫で長持ち、しかも チモシーとの混播相性がぴったり
アカクローバ「ナツユウ」



早生

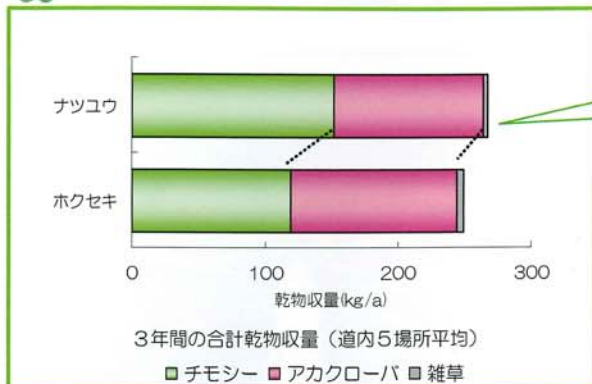


栽培適地：北海道全域

アカクローバはチモシーなどのイネ科牧草との混播で草地の栄養価を高め、窒素肥料の節減効果もあります。「ナツユウ」は北海道が栽培適地でイネ科牧草との相性に優れ、利用できる年数の長い品種です。

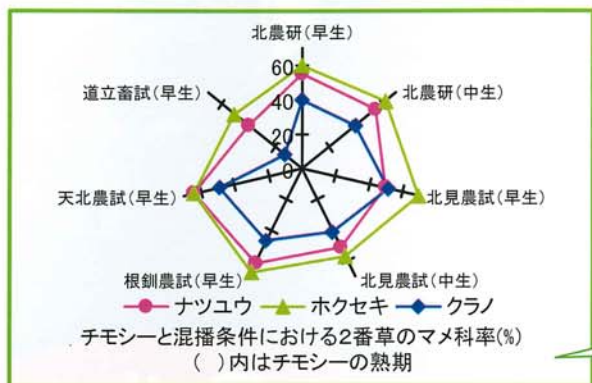
イネ科牧草との相性と永続性に 優れるアカクローバ新品種「ナツユウ」

チモシーを抑圧しないため、草地全体の収量が高くなる



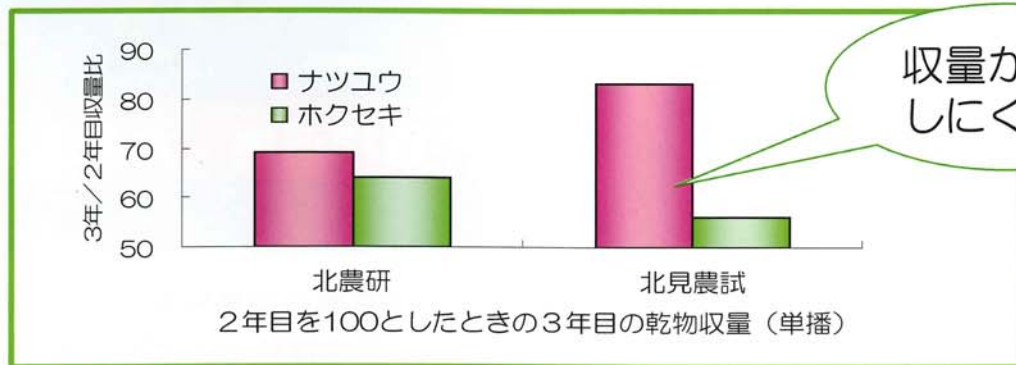
全体の収量
UP!

- 早生品種ですが2番草の生育が穏やかで、チモシーの早生から中生品種と組み合わせて混播できます。
- 越冬性、永続性が高く北海道一円で利用可能です。
- 草地にマメ科牧草を入れることでたんぱく質やミネラルが増えて品質が向上し、窒素固定により肥料の節減も可能です。



マメ科率は
2番草でも適度

越冬性に優れるため、永続性が高い



収量が低下
しにくい!



【育成機関】 問い合わせ先：
(独) 北海道農業研究センター 酪農研究領域 飼料作物グループ

TEL 011-857-9272 (直通)